

伊豆市 「壮年熟期」 移動支援サービス創出事業事例報告

伊 豆 市

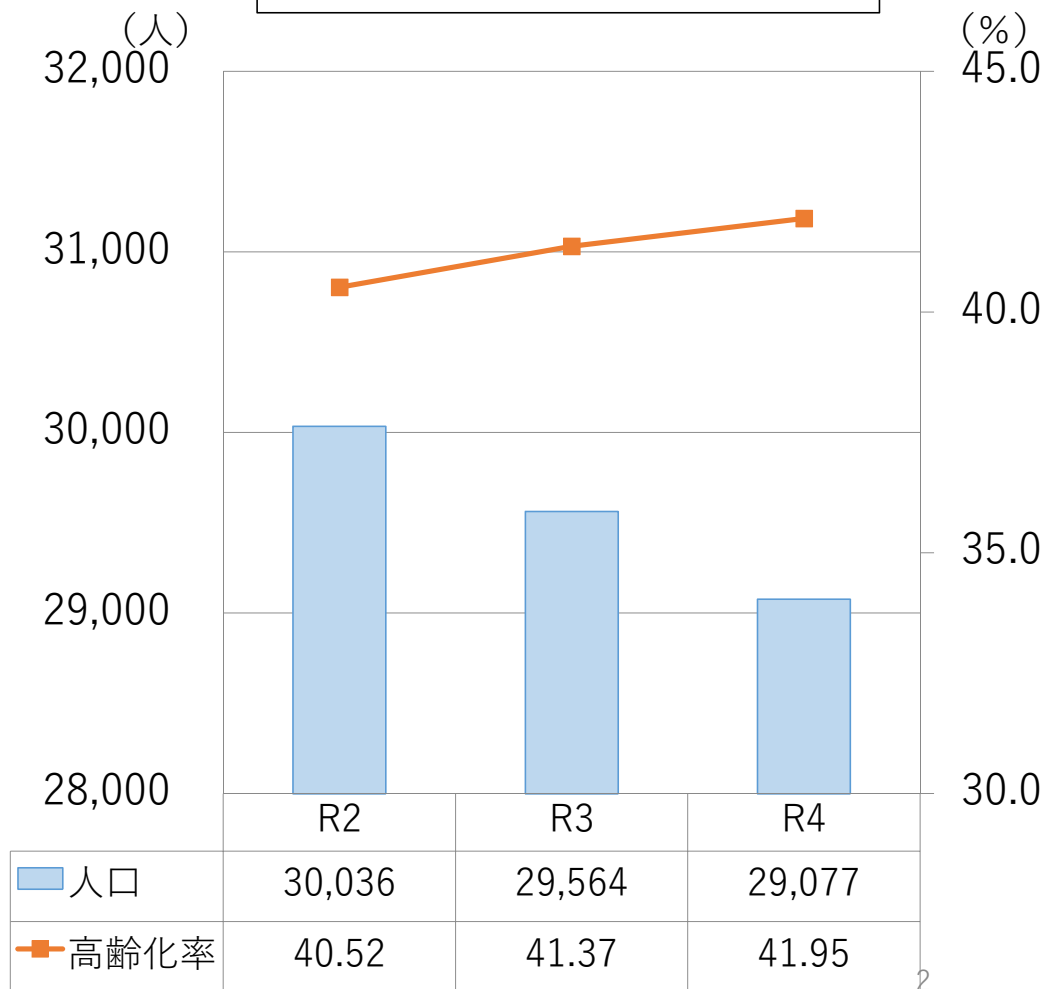
- 伊豆市健康長寿課高齢者支援スタッフ
第一層SC 渡部 幸一
 - 土肥地区地域包括支援センター
センター長 黒川 正樹
- 令和5年2月15日

伊豆市 「壮年熟期」 移動支援サービス創出事業事例報告

伊豆市の位置・地勢



伊豆市人口と高齢化率の推移



伊豆市 「壮年熟期」 移動支援サービス創出事業事例報告

行政区別 令和4年度高齢化率

令和4年4月1日

圏 域	行政地区数	地区人口	65歳以上人口	高齢化率
修善寺	40地区	13,720	5,347	38.97%
中伊豆	33地区	6,697	2,837	42.46%
天城湯ヶ島	23地区	5,401	2,344	43.40%
土肥	32地区	3,259	1,637	51.33%
計	128地区	29,077	12,201	41.96%

伊豆市 「壮年熟期」 移動支援サービス創出事業事例報告

第一層協議体会議「市住民主体の移動支援サービス取組」経緯

令和2年度 生活支援整備体制取組体制変更 第一層協議体会議発足

いつまでも 元気に暮らすための 伊豆市地域包括ケアシステム体制整備推進図 (第一層協議体)

厚生労働省老健局老人保健課 (地域づくりによる介護予防の推進施策)

※法令：介護保険法等

静岡県健康福祉部健康増進課 (地域包括ケアシステム推進施策)

※国の施策を受け県事業を通じて市への支援・助成事業推進

厚労省：1. 自立支援・重度化防止に向けた保険者機能の強化等の取り組みの推進 (介護保険法) 2. 医療・介護の連携推進等 (介護保険法、医療法) 3. 地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進等 (社会福祉法、介護保険法、障害者総合支援法、児童福祉法)

静岡県：第8次静岡県長寿社会保険福祉計画(2018-2020)

伊豆市健康福祉部長寿介護課 (市地域包括ケアシステム推進施策)

※体制整備・総合事業施策の推進

伊豆市：伊豆市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画

＝体制整備推進・第一層協議体
市地域包括システム推進施策についての協議機関
長寿介護課 (主幹・主査・第一層SC)・修善寺地区地域包括支援センター長・中伊豆地区地域包括支援センター長・天城湯ヶ島地区地域包括支援センター長・土肥地区地域包括支援センター長・市社会福祉協議会 (次長又は局長)

体制整備・第一層協議体で話し合うこと (役割)
1. 市全域に係る社会資源等との連携及び協議を行う。2. 担い手の発掘、養成、補助金等の制度など市全域にまたがることを協議する。3. 支え合い・助け合いの仕組みづくりへの理解協力を広げるための啓発活動を行う。4. 第2層協議帯が取り組んでいる情報を共有し、第2層協議帯で解決が困難な課題があれば、各圏域包括支援センター長並びに社会福祉協議会次長又は局長を通じて議案提出し、解決するための協議を行うこととする。

＝体制整備推進・第二層協議体＝

修善寺包括
SC

中伊豆包括
SC

天城湯ヶ島包括
SC

土肥包括
SC

体制整備・第二層協議体で話し合うこと (役割)
1. 各圏域内の困りごとの協議を行う。2. 圏域内で生活しているから気づく、医療・介護では解決しにくい困りごとの把握と協議を行う。3. 住民からの「こんなことがあったらいい」「こんなことができればたすかるな」把握と検討を行う4. 第2層SCは第一層協議体会議へオブザーバーとして出席することとする。

伊豆市 「壮年熟期」 移動支援サービス創出事業事例報告

II

「生活支援整備体制」 優先取組事業：移動支援サービス創出議決

令和3・4年度「壮年熟期」移動支援サービス創出応募・採択

令和3年度事業コンセプト：住民主体の移動支援サービスとは



令和3年10月4日

「住民主体の移動支援サービス創出セミナー」

基調講演 東京大学名誉教授 鎌田 実 氏

令和2年度 取組

《令和2年7月20日》

移動支援サービス市民勉強会
NPO全国移動ネット

《令和3年8月5日》

市社会福祉法人連絡会

★市移動支援創出計画について
社会福祉法第24条2項規定(公益
的社會貢獻事業)との相關事業

令和3年11月11日、12日 「運転ボランティア養成講座」



伊豆市 「壮年熟期」 移動支援サービス創出事業事例報告

III

令和4年度事業コンセプト：住民主体の移動支援サービス実装へ

移動支援サービス創出セミナー



《 4 圏域別グループワーク 》

1. 修善寺ニュータウン 取組事例発表
2. 事例発表への感想
3. 私の住んでいる地区の課題
4. できそうなこと
5. 知りたいこと

圏域別 グループワーク発表

運転ボランティア養成講座

土肥圏域：32地区 令和4年4月1日現在
地区人口：3,259名 65歳以上人口：1,673名
高齢化率：51.33%

土肥圏域で開催

後半で土肥地区地域包括支援センター長 黒川氏
からご報告いたします

伊豆市 「壮年熟期」 移動支援サービス創出事業事例報告

修善寺ニュータウン地区

◀ 標高200mの丘の上に広がる豊かな自然に囲まれた定住・別荘地 ▶

令和4年4月1日現在

地区人口：727名 65歳以上人口：361名 高齢化率：49.66%

友笑会 サロン・居場所

1月 7日(土)	麻雀教室
10日(火)	楽しいおしゃべり
12日(木)	お買い物ツアー(アピタ大仁店)
14日(土)	麻雀教室
15日(日)	日曜開放日・鏡開き
17日(火)	健康教室・認知症とは
21日(土)	麻雀教室・スマホ教室
24日(火)	健康教室・ロコトレ体操
26日(木)	お買い物ツアー(マックスバリュート修善寺店)
28日(土)	麻雀教室
31日(火)	楽しいおしゃべり



伊豆市 「壮年熟期」 移動支援サービス創出事業事例報告

中大見地域づくり協議会

《旧八幡小学校区6地区で組織。地域で暮らす住民が主体となって自主的地域課題解決を目指す協議会》

令和4年4月1日現在

地区人口：2,015名 65歳以上人口：837名 高齢化率：41.50%

令和4年度 主な実施事業

中伊豆小学校
稲作実習田管理



六仙の里
歩道整備



今年度から高齢者移動支援サービス事業がスタート



土肥地区地域包括支援センター長 黒川 正樹氏

NPO 土肥の暮らしを支え合う会きずな

「 移動支援サービス創出事業への取組 」

持ち時間： 10分



伊豆市 「壮年熟期」 移動支援サービス創出事業事例報告

住民と共に進める生活支援整備体制推進こそ伊豆市の未来を拓く

トヨタ財団
「先端技術と共創する新たな人間社会」
伊豆市プロジェクト



国立静岡大学
未来社会デザイン機構

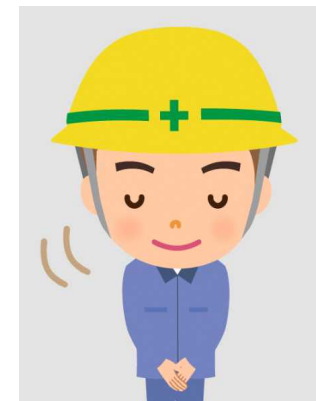


伊豆市
第一層協議体
会議

WHO Global report on assistive technology



有難うございました！！



伊豆市土肥地区

～有償ボランティアによる住民同士の支え合い活動～

移動支援サービス創出に向けて

- 1) 伊豆市土肥地区の人口動向と課題
- 2) NPO法人 土肥の暮らしを支え合う会きずな 紹介
- 3) 移動支援サービス創出に向けて

伊豆市土肥地区地域包括支援センター
センター長 黒川正樹



静岡県

伊豆市



土肥地区

土肥地区人口	<u>3259人</u>
65歳以上	<u>1673人</u>
16歳～64歳	<u>1409人</u>
15歳以下	<u>177人</u>
高齢化率	<u>51.3%</u>

※令和4年4月1日現在

土肥地区の人口推移(昭和22年～)

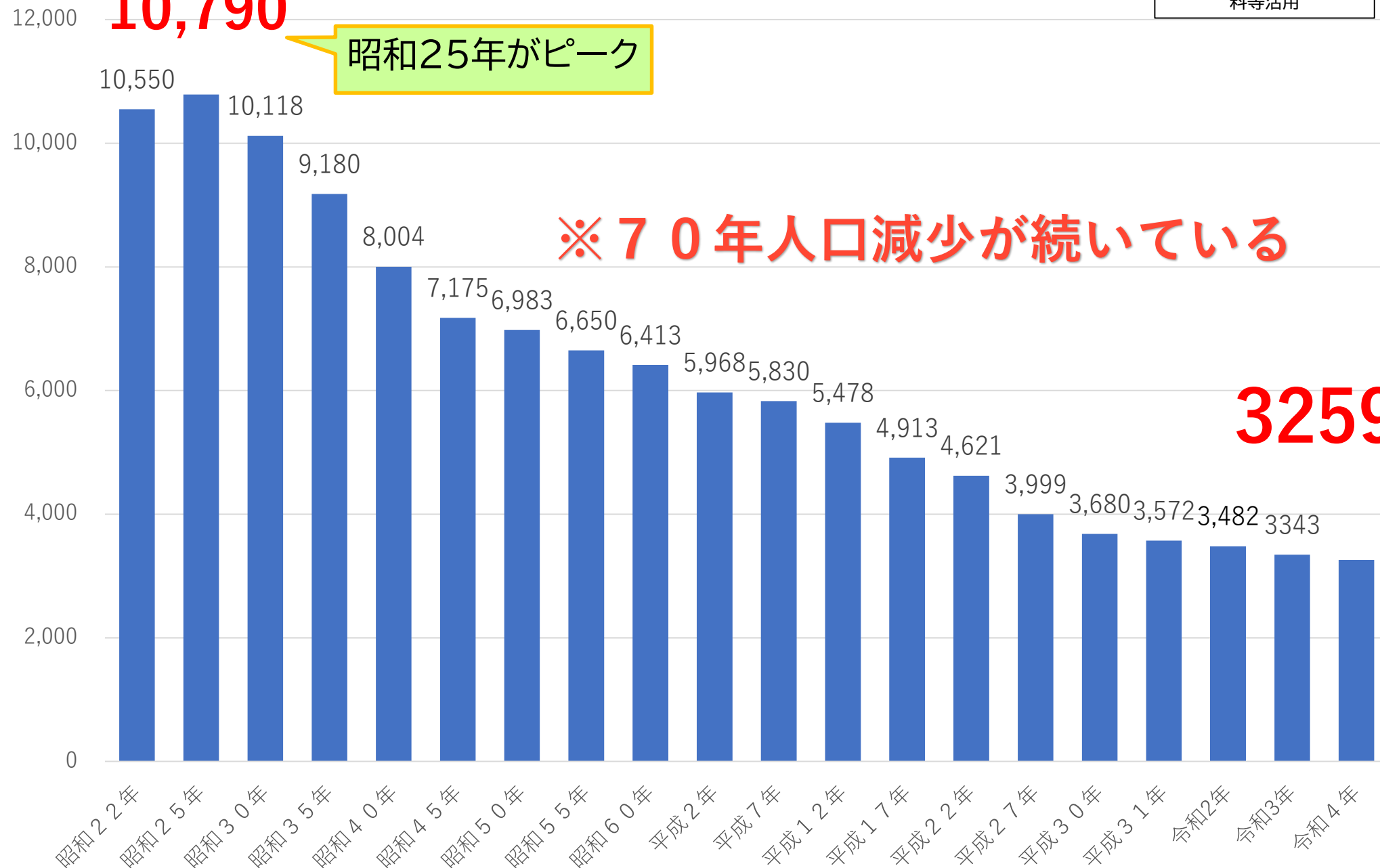
平成27年度第4回 静岡県河川審議会 土肥一資料等活用

10,790

昭和25年がピーク

※70年人口減少が続いている

3259



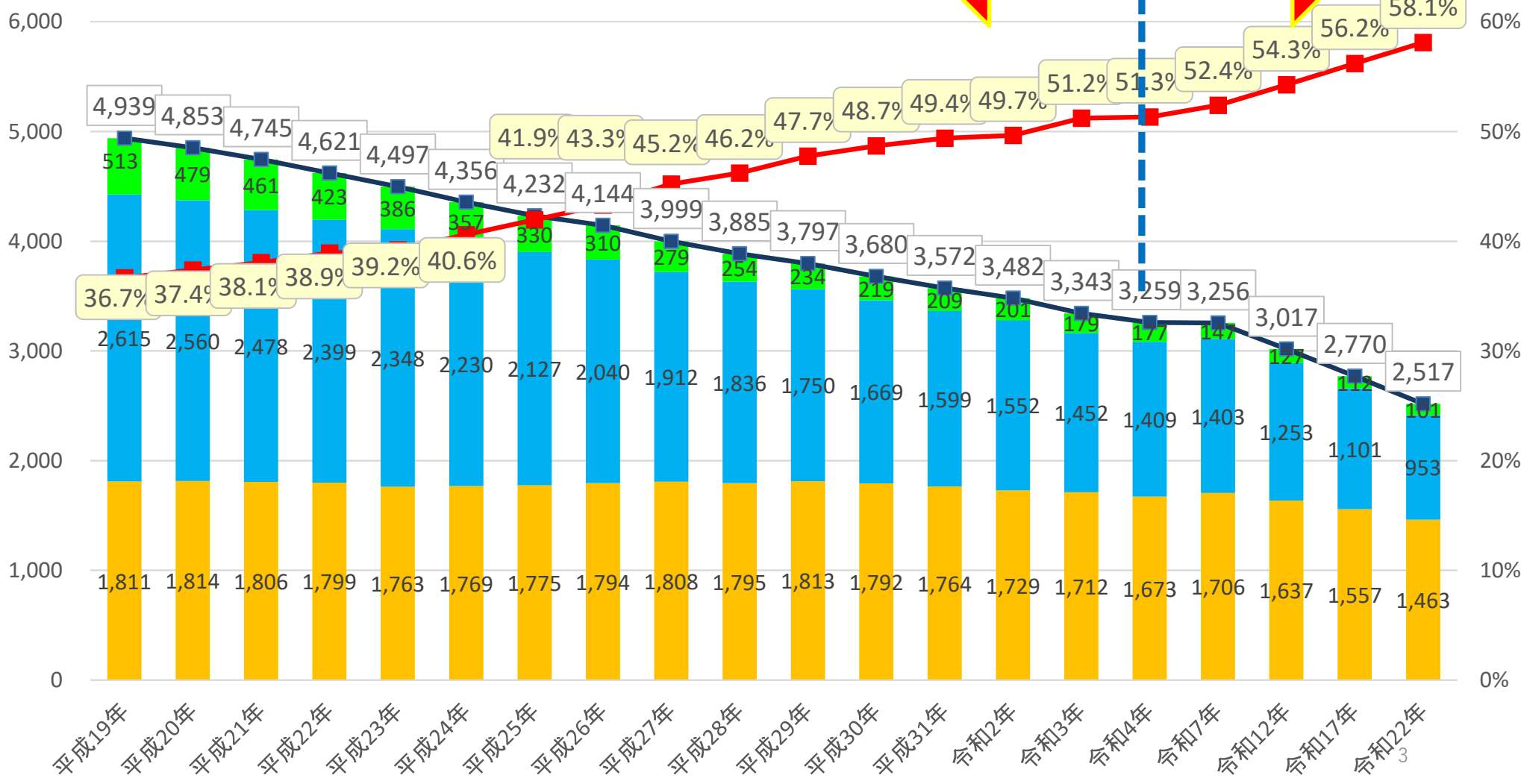
土肥地区の年齢別人口動向 ・ 高齢化率

<実績値と推計値>

(社協)土肥地区の人口と高齢化率、総務省資料等活用算出

■ 65歳以上
 ■ 16～64歳
 ■ 15歳以下
 ■ 地区人口
 ■ 高齢化率

実績値 ← | → 推計値



土肥地区での地域支え合い体制作りが必要となる背景 (土肥地区の地域課題)

①生産年齢減少による人口減少・少子高齢化

②商店などの減少

③一人暮らし等が増加

(※40%以上が独居or高齢者世帯)

④介護を必要とする住民が増加

⑤認知症高齢者が増加

⑥介護の担い手が不足

土肥地区オリジナルの**支え合い**が必要！

土肥地区では、
(目的)地域住民が、住み慣れた地
域でいつまでも安心して暮らし続け
ていくために…

令和2年6月活動開始

地域
住民



※地域住民主体※

有償ボランティアによる住民同士の支え合い活動を設立

令和2年6月
活動開始



～有償ボランティアによる住民同士の支え合い活動～

特定非営利活動法人
土肥の暮らしを支え合う会



住民同士による、有償ボランティア活動



地域相談員10名、きずなサポーター登録者86名

在宅高齢者のお宅にきずなサポーターを派遣した事例



たまってしまった新聞紙をまとめ、
ゴミの日に出しました。



お正月を迎える前に
障子の張替えをしました。
た。

在宅利用者
22名

在宅高齢者のお宅にきずなサポーターを派遣した事例



草刈り。作業によっては二人で行います。

～活動事例～

在宅利用者

22名

Aさん89歳女性

買物、ゴミ出し

Bさん89歳女性

自宅に三か所ある神棚の掃除

Cさん84歳女性

自宅周りの植木の剪定

Dさん93歳女性

畑のちょっとした草刈り

Eさん91歳女性

新聞紙、雑誌のゴミ出し

Fさん79歳女性

部屋の掃除、庭の草刈り

土肥・小土肥地域づくり協議会主催の活動



百歳体操の応援ができる「きずなサポーター」を派遣、会場の準備や運動の指導を行います。



休耕農地の草刈りや林道パトロールをしてくれる方にサポーター登録をしていただき活動をしています。

老人施設（土肥ホーム）の介護以外の業務にきずなサポーターを派遣した事例



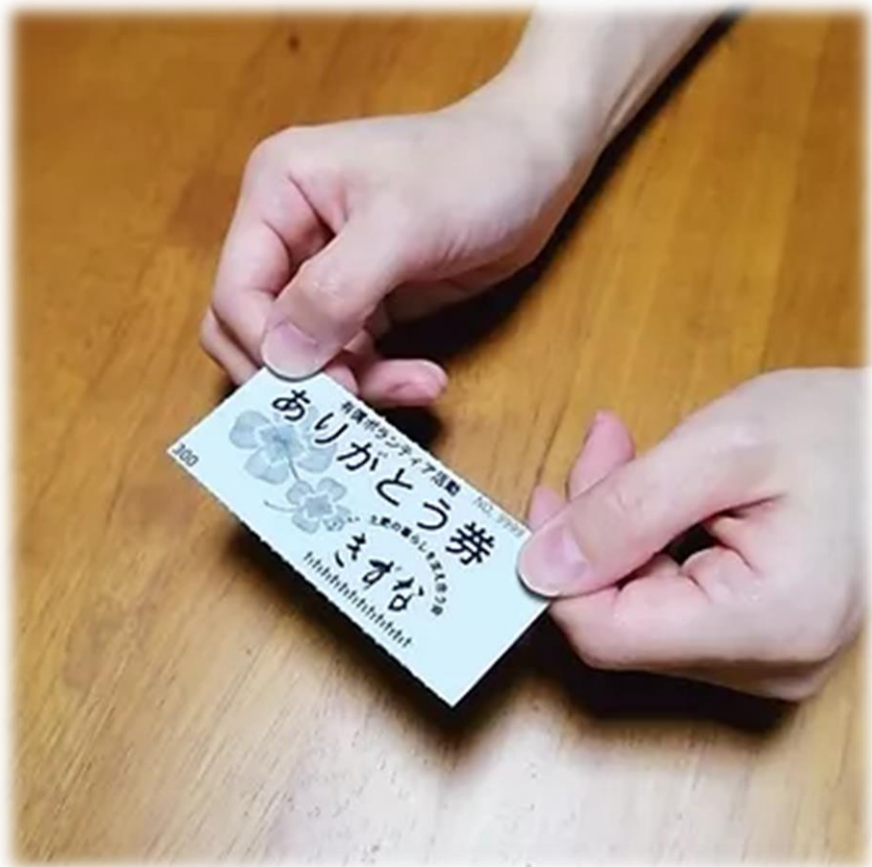
デイサービスでのドライヤーかけ



デイサービスでのお茶だし

介護職員でなくてもできる仕事を、きずなサポーターがお手伝いしています。

～感謝を繋ぐ『ありがとう券』～



お助けしてもらったご利用者は、活動に対するお礼として、きずなサポーター(支援ボランティア)に、この『ありがとう券』を渡します。

この『ありがとう券』には

「助けてもらって、無償じゃ申しわけない・・・」
「何かお礼がしたい・・・」

そんな感謝の気持ちが、込められています



ホームページ



Facebook

～有償ボランティアによる住民同士の支え合い活動～

移動支援サービス 創出に向けて



特定非営利活動法人
土肥の暮らしを支え合う会

活動開始当初からの課題（住民からの声）



買い物や病院に行くのが不便

車が運転できなくなった将来の生活に不安



住民ボランティアによる移動支援サービスが必要だ

きずなでも、移動支援をしたい！



令和4年1月 移動支援サービス勉強会開催に向けて



NPO全国移動サービスネットワークの支援により、きずな役員に対し、どのような勉強会を開催するか？皆さんが考える移動支援とはどんなものか？の意見交換をZoom実施。

令和4年2月 移動支援サービス勉強会開催



NPO全国移動サービスネットワーク
事務局長 伊藤みどり 氏

きずなサポーター定期例会にて、移動支援サービス勉強会を開催。
移動支援サービスを実施する上での留意点や先進事例の紹介などにより
活動のイメージを膨らめます。

令和4年3月 勉強会の振り返り・今後に向けて



NPO全国移動サービスネットワークの支援により、勉強会の振り返り。
きずな役員及び地域包括支援センターやSCに対して、今後どのような進め方をしたら実現できそうか？意見交換をZoom実施

令和4年8月 住民による移動支援サービス創出にむけて②



伊豆市主催、運転ボランティア養成講座開催
きずなサポーター9名参加

令和4年10月 移動支援サービス創出にむけた勉強会



NPOかながわ福祉移動サービスネットワークの支援により、運転ボランティア養成講座修了者ときずな役員との勉強会

令和4年12月より、移動支援サービス実証実験開始

令和4年11月～ 実証実験に向けた準備①

- ・保険加入 損保ジャパン『地域の移動を支える保険』
 - * サポーターのマイカー登録
- ・実証実験参加の留意事項(ボランティア及び利用者用)
 - * 生活支援の延長上の移動支援サービスであること
 - * 住民のマイカー及び土肥ホームの車両を使用すること
 - * 住民同士の支え合い活動であること(業者ではない)
- ・実証実験に参加の同意書
 - * 実証実験参加の留意事項に関する同意
 - * ご家族にも趣旨をご理解頂く

令和4年11月～ 実証実験に向けた準備②

- ・実証実験中の実績報告及びアンケート作成
 - * 利用者とサポーターそれぞれから意見を聴取できるように
- ・対象者は、きずな在宅利用者(22名)に限定
 - * 実験中はあまり多く広めるのはやめよう(改めた広報はしない)
- ・土肥地区内の、買い物・通院・サロンへの移動に限定
 - * 負担のない程度からはじめよう
- ・再マッチングによるニーズ調査
 - * どんな移動支援を希望しているか

令和4年12月～ 実証実験開始

サポーター	日付	利用者名	乗車場所	降車場所	付添
女性サポーター①	12月26日	Aさん	自宅	加藤内科医院	あり
	12月26日	Aさん	加藤内科医院	自宅	
女性サポーター①	12月26日	Aさん	自宅	小長谷歯科医院	あり
	12月26日	Aさん	小長谷歯科医院	自宅	
女性サポーター①	12月27日	Aさん	自宅	土肥クリニック	あり
	12月27日	Aさん	土肥クリニック	自宅	
女性サポーター②	1月17日	Bさん	自宅	小長谷歯科医院	なし
	1月17日	Bさん	小長谷歯科医院	自宅	
男性サポーター①	1月18日	Cさん	自宅	土肥クリニック	駐車場待機
	1月18日	Cさん	土肥クリニック	自宅	
女性サポーター①	1月24日	Aさん	自宅	土肥クリニック	あり
	1月24日	Aさん	土肥クリニック	自宅	
男性サポーター②	1月31日	Aさん	自宅	土肥クリニック	なし
	1月31日	Aさん	土肥クリニック	自宅	

令和4年12月～ 実証実験開始



- ・3月まで実証実験を行い、4月に振り返りと課題を協議予定
- ・本格稼働は6月を目指す



私たちがきずなは、有償ボランティア活動を通し
住民同士で土肥の暮らしを支え合います



令和5年2月15日(水)
令和4年度 移動サービス事例報告会

ある日偶然集まった人たちで 突然ひらめいた出来事

～そうだ！！サロンの場所も変えて
お買い物もしちゃおう！！～

熱海市役所健康福祉部長寿介護課長寿支援室 長島 祐子
熱海市社会福祉協議会 島田 友香

熱海市の紹介①



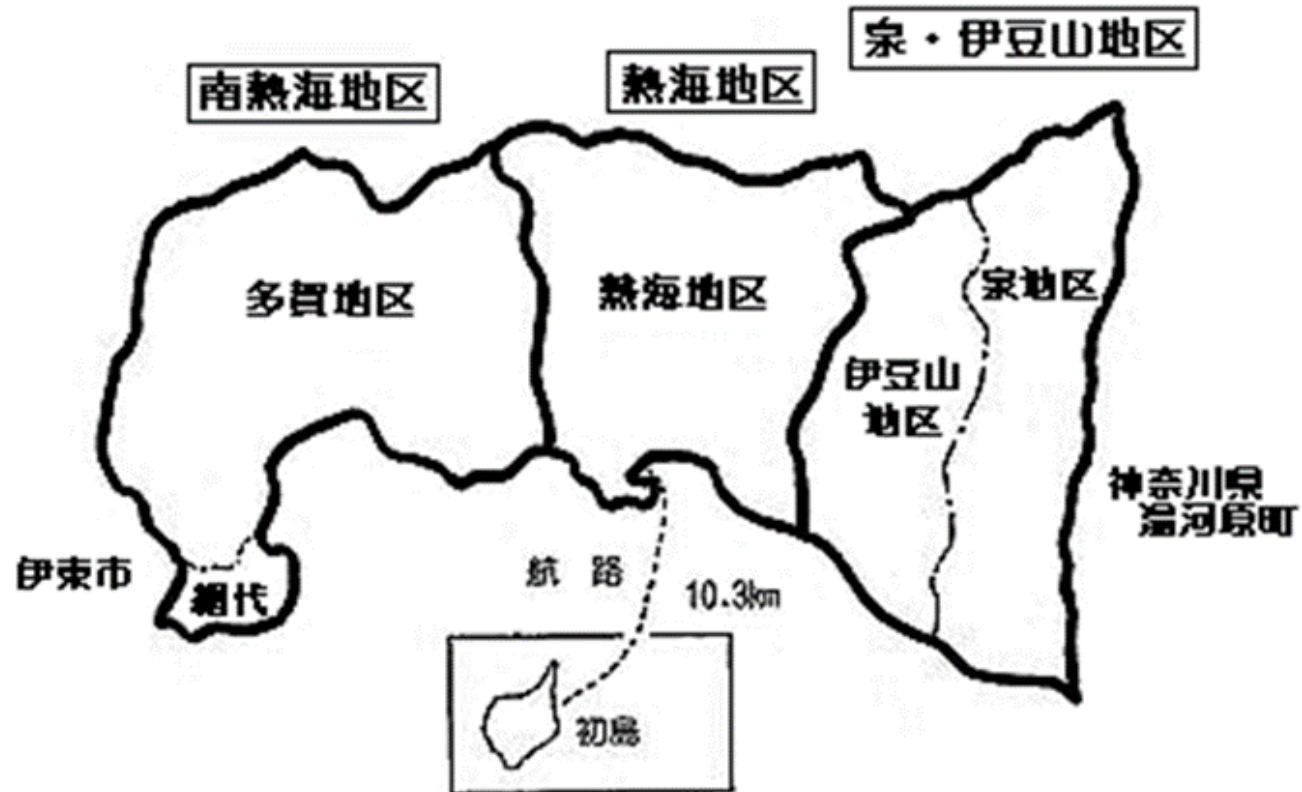
- 人口 34,433人 (男15,614人、女18,819人) 【令和4年12月現在】
- 世帯数 20,923世帯【令和4年12月現在】
- 高齢化率 48.6% 【令和4年4月現在】

- 市の色 スカイブルー
- 市の鳥 カモメ
- 市の花 梅
- 市の木 アタミザクラ



熱海市の紹介②

日常生活圏内域地図



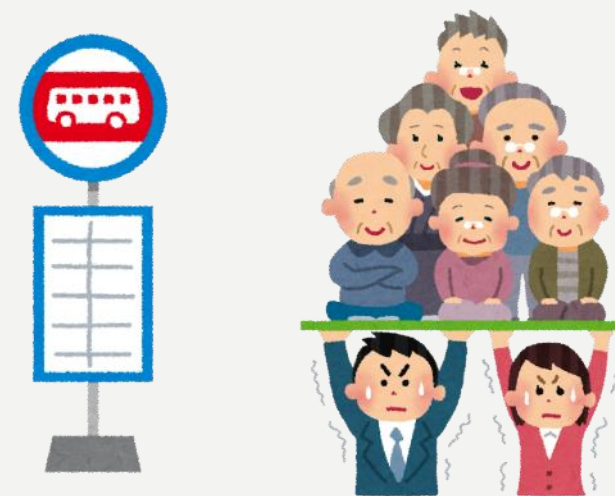
実施の背景①

生活支援体制整備事業南熱海地区第2層協議体（令和2年11月20日開催）にて...

- 平らな場所が少なく歩いて通える場所が少ない（買い物、病院等）
- 有償ボランティアで課題なのが歩行が困難な方の通院支援の依頼が増えていること
- 移動手段がないため仕方なくゆっくり運転している。あと何年運転できるか不安。

熱海市の特徴として...

- 坂が多い
- 超高齢化
- 自宅からバス停までの距離が遠い
- そもそもバス停がない地域もある





熱海の移動支援
サービスを
創るんだー！！

と、令和3年度から事業の創出に向けて始動する
予定でしたが...

実施の背景②

令和3年7月3日 熱海市伊豆山土石流災害発生



⇒令和4年度に再始動

令和4年度の取り組み①

日にち・場所	講座	受講者数	内容	講師
令和4年8月6日(土) 起雲閣	ボランティア入門 講座	20名	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の始め方 ・熱海市伊豆山土石流災害の災害ボランティアの経験談 	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやか福祉財団 澤様 ・市内自主防災会の会員
令和4年9月30日(金) 熱海市総合福祉センター	移動支援セミナー (1回目)	15名	<ul style="list-style-type: none"> ・熱海市の現状 ・セミナー開催に至った経緯 ・基調講演(全国の好事例) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国移動サービスネットワーク 石山理事 ・熱海市役所職員 ・社協職員(SC)
令和4年10月7日(金) マジオドライバーズ スクール熱海校	移動支援セミナー (2回目)	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・運転適性検査 ・ドライバーとしての心構え ・実技講習 ・適性結果から見たアドバイス 	マジオドライバーズスクール熱海校講師の皆さん
令和4年10月14日(金) 南熱海支所	移動支援セミナー (3回目)	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演(住民相互による外出支援、事故への備え等) ・実証実験に向けた意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国移動サービスネットワーク 河崎副理事長 ・社協職員(SC)
令和4年11月24日(木) 南熱海支所	移動支援実証実験 説明会	7名	<ul style="list-style-type: none"> ・運行マニュアル、事故マニュアル等の確認 ・運行ルートの確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・熱海市役所職員 ・社協職員(SC)

令和4年度の取り組み②



転機はある日突然に...①

- 令和4年9月12日「高齢者の保健事業と介護予防の一体実施」フレイル予防教室のため「中野ふれあいいきいきサロン」へ

中野ふれあいいきいきサロンとは？

- 中野市営団地の集会場で実施しているサロン
- 体操、クラフトなど
- 参加者は4～5名（市営団地や団地周辺の住民）



転機はある日突然に...②

今、三島信用金庫の跡地の
「多賀文庫」というところにいる
から、サロンが終わったらサロンの
代表者と来てくれないかな？



転機はある日突然に...③



多賀文庫

TAGA BOOKS とは

- 地元の自営業の方が開業した私設図書館
- 1階は私設図書館。コワーキングスペースあり。読書や勉強、リモートワークなどに活用できる。
- 2階はレンタルスペース。会議や集会、教室の開催が可能。
- 一箱本棚オーナー制度（自分の好きな本や雑貨を並べ、人に貸したり販売が可能）

【多賀文庫ホームページ tagabooks.jimdofree.com】

【Instagramもやってます】



転機はある日突然に...④

集まったメンバーからアイデアが続々と...!

- この2階でサロンをやるのはどう？
- マックスバリュもウエルシアも郵便局も近い
- 中野団地の集会場はエアコンがなく夏場は熱中症が心配
- 中野団地にはバス路線が通っていない
- サロン参加者が買い物に行くには親族に頼る必要がある



サロン参加者に聞きました

【買い物】

- 同居の家族と一緒にしている
- 行きは20分かけて徒歩で坂道を下る。帰りはタクシー。
- 同じ団地に住む知人が連れて行ってくれる
- 毎週金曜日、移動販売車(豆腐屋)が来るので、豆腐や野菜を購入できる

【通院】

- 通院は送迎をしている〇〇医院
- 同居の家族が仕事に行く前に送ってくれる。帰りは送迎車。
- 離れて住んでいる妹が月1回連れて行ってくれる

【その他】

- タクシーを呼んでも1時間ぐらい待つことになる



「静岡県 壮年熟期が活躍するいきいき長寿
社会づくり事業」の動画をご覧ください



実証実験の内容①

実施時期・期間

- 3カ月（令和4年12月～令和5年2月）

対象サロン

- 中野ふれあいいいきいきサロン開催日（第2・4月曜日）

移動先

- 中野ふれあいいいきいきサロン参加者宅の地域（中野団地集会場前）
⇔多賀文庫

運転ボランティア、付き添いボランティアの2名体制



実証実験の内容②

保険

- 全国社会福祉協議会 送迎サービス補償

車両

- 熱海市社会福祉協議会で用意した車両

利用料

- 無料



中野ふれあいいいきいきサロンの拠点移動（テスト実施）令和4年12月から 3カ月実施予定



集まる場所が
あって友達と話
するのが楽しみ
だけどお



集いの場
中野ふれあいいいきいきサロン
(第2・4月曜開催)

お金おろすのも、
薬買うのもタク
シー呼ばなきゃな
らなくてねえ



運転ボランティアさん
によるサポート
新しい拠点までを送迎

中野団地集会所で実施している中野ふれあいいいきいきサロンを
多賀文庫に場所を移行することで移動に関する困りごとの解決を図る

対象者はサロンへ参加している方

- 多賀文庫をサロンとして利用させていただくことで、スーパーやドラッグストアなどが近くなり買い物をしてから帰宅ができるようになる
- バス路線に繋げることで、市街にも行きやすくなる、また活動の幅が広がる



実際に使った
説明資料



多賀文庫(集いの場)



実証実験をやってみて...

- 会場のこと（エレベーターがない、会場使用料の捻出）
- 利用者のこと（雨だと欠席する方がいる）
- 新たにボランティア人材の発掘ができた
- 生まれも育ちも地元の方、県外から移住された方
- 50～70歳代の男性が多数
- ボランティアの志が高い。気持ち良く実証実験に協力してくださった。
- 実証実験内容とボランティアが実際にやりたいことが乖離している部分もあり今後の活動にどうつなげるか



今後の展望

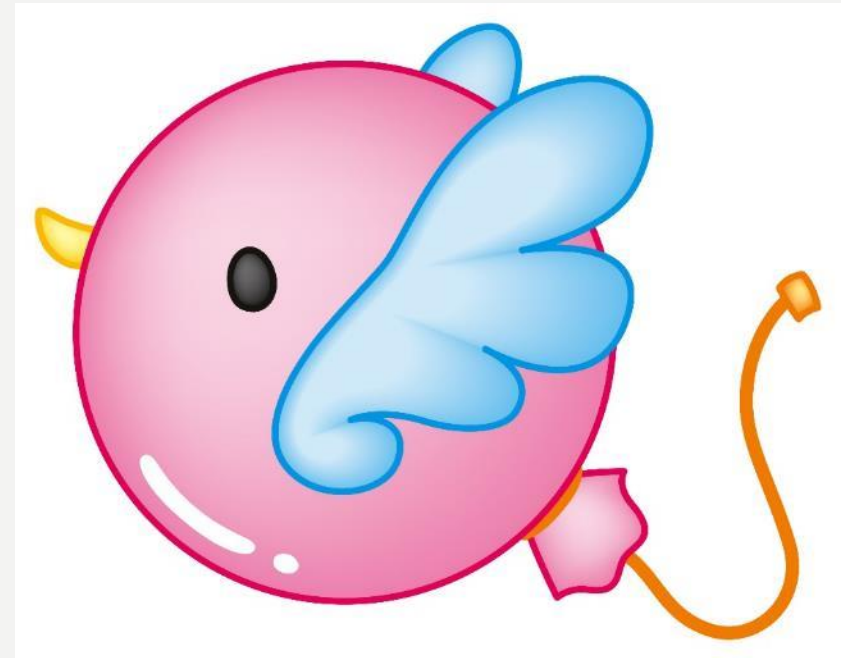
- 次年度に向けての計画（訪問Dの創設）
- 自家用車を利用した移動支援サービスの仕組みづくり
- 運転ボランティア養成講座の継続



ご清聴ありがとうございました



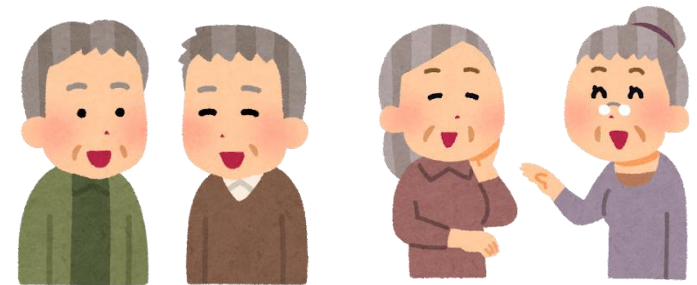
熱海市地域共生プラン
イメージキャラクター
あつたまる助



熱海市社協のマスコットキャラクター
ふうちゃん

鈴鹿市における 地域づくり協議会の生活支援

地域の中で高齢者が自分らしく生きるまち「すずか」をめざして



鈴鹿市 健康福祉部 長寿社会課 宮崎千夏

鈴鹿市社会福祉協議会 地域福祉課 佐藤秀人 加藤大季

鈴鹿市の概要



	(令和4年9月30日現在)
人口	196,692人
面積	194.46km ²
65歳以上人口	50,516人
高齢化率	25.7%
要介護認定率	17.4% (R4.3.31現在)

本市は自動車産業のほか、茶や花木をはじめとする農業も活発に行われ、農業と工業がともに成長した「緑の工都」として発展してきました。また、モータースポーツをはじめとした国際交流も盛んであり、国際的な観光都市としても知られています。

鈴鹿市の概要

日常生活圏域 8圏域

包括支援センター 基幹型+8か所

(鈴鹿亀山地区広域連合から委託)

生活支援コーディネーター 5名

第1層1名+第2層4名 (社会福祉協議会に専従で鈴鹿市から委託)

地域(まち)づくり協議会 28協議会 (令和4年4月現在)

地域づくり協議会とは

地域の実情や必要に応じて、一定の地域における地域づくりに取り組む組織。

区域は、平成28年当時の小学校区を基本とし、従来のつながりを勘案。

人的支援 (地区市民センター所長等活動支援する地域支援職員制度)、
財政的支援 (一括交付金制度)、物的支援 (公民館等に地域部屋の整備)



鈴鹿市における地域介護予防活動支援事業の概要

「暮らしまかせて支援事業」 地域介護予防活動支援事業を活用した補助事業

<事業目的>

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう地域の互助の活動を充実させるため、地域住民が主体的に運営する介護予防活動やお互いに見守り合うことのできる場づくり、また、そこで把握された地域課題に取り組む支え合い活動を支援する。

<補助の対象となる活動>

- ▶ 通いの場の開設 ⇒ 地域住民の通いの場を定期的に(月1回以上)実施
- ▶ 生活支援 ⇒ ゴミ出し, 電球の交換, 家具の移動, 話し相手, 庭木の剪定, 除草作業, **病院・買い物等への付き添い支援** など

※活動内容・対象者の条件・利用料金などは地域で決める

<その他要件>

- ▶ 地域づくり協議会の事業として取り組むこと。



「暮らしまかせて支援事業」 地域介護予防活動支援事業を活用した補助事業

<補助金の内容>

- ▶ 立ち上げ支援費：報償費，需用費（消耗品費・印刷製本費・光熱水費），
役務費（通信運搬費・広告料），使用料及び賃借料，備品購入費
- ▶ 運営支援費：報償費，旅費，需用費（消耗品費・印刷製本費・光熱水費），
役務費（通信運搬費・広告料），委託料，使用料及び賃借料，備品購入費

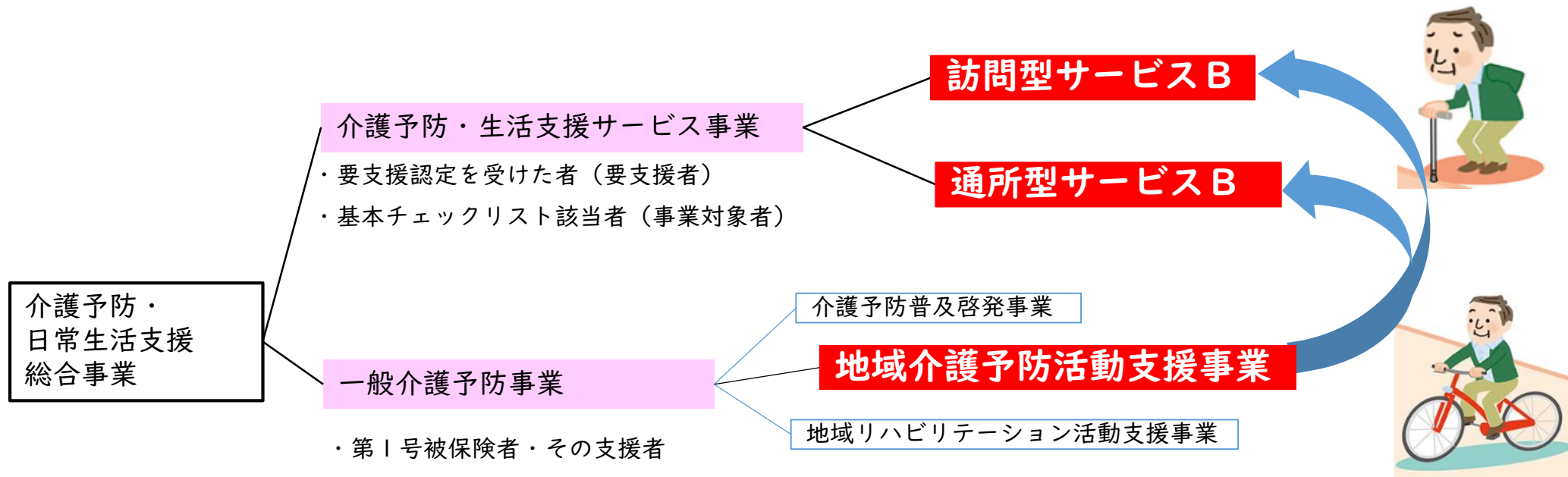
立ち上げ支援費は1回のみ 運営支援費は3年間で3年目は半額

事業の名称	費用内訳	1年目	2年目	3年目	4年目
暮らしまかせて 支援事業	立ち上げ支援費用	20万円			
	運営支援費用	20万円	20万円	10万円	
合計		40万円	20万円	10万円	



※1年目は立ち上げ支援費用のみで，2年目から運営支援費用の補助も可能

住民主体サービスの事業区分を変更する



事業の名称	費用内訳	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
暮らしまかせて支援事業	立ち上げ費用	20万円				
	運営費用	20万円	20万円	10万円		
訪問型サービスB	運営費用				10万円	10万円
通所型サービスB	運営費用				10万円	10万円
合計		40万円	20万円	10万円	20万円	20万円

暮らしまかせて支援事業
2～3年目の団体に
サービスBを説明します

※サービスBの補助金の期限はなし



訪問型サービスBの実施基準

対象者のサービス提供に支障がない場合は
その他の利用者へのサービス提供も可能です。

ただし、実績報告のため、ケアプランに基づいた方
(ケアマネからの紹介があったケース)が
わかるように整理しておいてください。

項目	内容
実施主体	地域づくり協議会
対象者	65歳以上のケアプランに基づく高齢者（事業対象者・要支援1・2）
内容	<p>身体介護を伴わない生活支援サービスの実施体制を整えること ※外出時の付き添い支援・ゴミ捨ては必ず入れること</p> <p>その他の支援内容は地域によって異なる （掃除，洗濯，調理，買物，布団干し取り入れ， 灯油の補給，話相手・庭木の剪定・草刈り等）</p>
自己負担	地域によって異なる 参考：250～300円／30分
実施体制	利用者の状況の変化によって 支援内容の見直しが必要と認められた場合には， すみやかに担当ケアマネジャー等に連絡する。



住民主体の車での移動を伴う付添支援について

令和5年1月現在

地区	補助状況	支援内容	有償	運転者の条件	その他
稲生助け愛ネット	B：1年目	付き添い支援あり (通院・買い物)	年会費1000円 30分300円	75歳未満が望ましい 5年以上無事故 任意保険加入	
旭お助け隊	暮：3年目	付き添い支援あり (通院・買い物)	年会金1000円 30分250円	80歳未満 5年以上無事故 任意保険加入	
ささえあいま庄野	暮：3年目	付き添い支援あり (通院・買い物)	年会費1000円 30分300円		
天名生活支援ネット はごろも	暮：1年目	付き添い支援あり (通院・買い物)	年会費1000円 30分300円	おおむね80歳未満	移動支援サービス専用自動車保険 概算払い月5,100円(年61,200円) 1日1台1,700円(月3台で計算)
ささえあいネット合川	暮：1年目	付き添い支援あり (通院・買い物)	年会費1000円 30分300円	交通安全講習受講者	移動支援サービス専用自動車保険 概算払い月17,850円(年214,200円) 1日1台1,700円(月10台計算)
国府生活支援幸ネット	暮：2年目	検討中			
ともに生きよう郡山	暮：1年目	検討中			
鈴峰	暮：1年目	通いの場のみ			
牧田	立ち上げ費のみ	検討中			

※BはサービスB, 暮は暮らしまかせて支援事業の略

事業	実施地域
訪問サービスB	1
暮らしまかせて支援事業	8
令和4年度中に立上げ予定	2

暮らしまかせて支援事業 令和3年度実績一覧（7地区）

支援内容 (補助状況)	稲生 助け愛ネット (運営3年目)	旭お助け隊 (運営2年目)	ささえあいま庄野 (運営2年目)	国府地区生活支援 幸ネット (運営1年目)	天名生活支援 ネットはごろも (立上げ費のみ)	生活支援サービス 支え合いあいかわ (立上げ費のみ)	ともに生きよう 郡山 (立上げ費のみ)
病院の付き添い	285	109	30	×		10	×
外出の付き添い		18		×			×
買い物の付き添い	38	15		×	1	3	×
買い物代行	2	3		1			
ゴミ出し	13	9	43			13	
草取り	17	24	2				1
庭木伐採	22	22	3	4			
清掃センターへ 伐採の持ち込み	25	16	3	8			
屋外清掃		8					
屋内清掃	5	5	1				
家具移動	2	3					
その他	25	8	9				

※その他は電球や電池の交換，各種補修など

※「×」は付き添い支援を実施していないため

制度を普及していくために

留意点

- ▶ 生活支援コーディネーターが地域づくり協議会の会議に頻回に参加し、関係づくりを行い、地域の課題を把握した上で本事業を紹介している。
- ▶ 地域の関心度に応じて、勉強会や検討会を開催し、すでに実施している地域への視察や関係書類の作成に関する支援など、立ち上げに必要なことを一つずつ丁寧に支援を行っている。
- ▶ 地域によっては、地域づくり協議会の中での意思統一が難しい場合もあり、活動が軌道に乗るまでは長期にわたる支援を行っている。
- ▶ 地域づくり協議会を対象としたフォーラムを開催したり、活動状況を取りまとめたチラシを作成するなど、他地域の活動状況の共有を図れるよう取り組んでいる。
- ▶ 月に1回、行政・基幹型地域包括支援センター・認知症初期集中支援チームと地域の状況や今後の支援について検討する会議を行い、情報共有を行っている。

地域との
関係づくり

地域に
寄り添う支援

長期的な
支援

広報
活動

関係機関と
連携

制度を普及していくために

今後の課題

- ▶ 車両を使った付き添い支援の依頼が多いが、支援ができる方が限られている。また、支援者の高齢化が進んでいるため、今後の懸念されている。
- ▶ 支援する側は、地域づくり協議会の福祉部員や活動に賛同した地域住民で成り立っているが、人数が少ない地域が多いため、支援会員の確保のための取り組みが必要。
- ▶ チラシや回覧板等で利用者の募集をしているが、利用者が少ない地域がある。地域性等の原因を把握し、周知啓発方法の検討が必要。
- ▶ 市内に30カ所ある公民館に設置された地域部屋を利用して活動を行っているが、公民館によってはスペースがなく、活動拠点の確保が課題になっている地域がある。
- ▶ 事業が立ち上がりを容易にするため、あえて細かな要件を定めていないため、地域毎のサービスの種類や質にばらつきがある。

支援側の
高齢化

支援側が
少ない

利用者が
少ない

活動拠点
確保

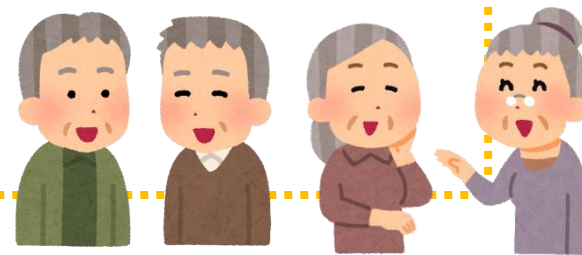
サービスの
地域差

利用者の声

- ・ 免許を返納したため、病院付き添い支援は本当に助かっている。
- ・ この制度を立ち上げてくれた会長，ボランティアに本当に感謝している。
- ・ 自分の住んでいる地域にこのような活動があって本当に良かった。
- ・ 支援いただく方とのお話がとても楽しいし，毎回楽しみに待ってます。

支援者の声

- ・ 自分の介護予防にもなって，日常生活に張り合いができた。
- ・ 「ありがとう」の一言が最高の報酬です。
- ・ 仲間との絆がなにより，地域全体の絆が深まった。
- ・ 話したことのない近所のかたと支援を通し話せる機会ができた。



これからも地域の声に寄り添いながら… 高齢者が自分らしく生きるまち「すずか」をめざしてまいります
ご清聴ありがとうございました